

## 地域主導型就農・定着応援プランの取組地域一覧

(平成31年2月25日現在)

No.	農林名	地域・部会名(キーパーソン)	地域の実情	作成状況
1	阪神	三田市高平地区 〔①(農)小柿宮農 ②はつか(農)〕	担い手の高齢化が進んでおり、就農希望者の受入を希望。また、地域活動が活発な地域であり、移住者に対しての空き家紹介等の支援を行っている。	—
2	加東	西脇市高松町 (区長 筒井 俊明)	高齢化により農家が減少。農地中間管理事業を活用し就農希望者を受入れている。	○
3	加東	西脇市芳田地区 (篠田重一(いちご栽培))	市が進めているイチゴの特産化により地域の活性化を図っている。	—
4	加東	J A兵庫みらい 加西市ぶどう部会 (部会長 石田 雅信)	新規就農者の受入に積極的であり、実績もある。部会も定期的で開催されている。 人・農地プランについては、一部の団地で作成済。	○
5	姫路	市川町笠形地区(上牛尾・下牛尾) 〔笠型オーガニックファーマーズ 代表 津田 繁幸 校長 牛尾 武博〕	従来から、有機農業での研修生を受入れており、今年度から温泉施設「せせらぎの湯の休眠施設」を宿泊施設として活用できることとなり、体制整備を整えつつある。 空き家情報の提供や農業体験・交流事業など、市川町への移住を希望する者の支援活動を町と協働で行っている。	○
6	朝来	朝来市認定農業者協議会 (会長 村上 彰)	研修者の受け入れ等、後継者の育成に力を入れている。	○
7	朝来	轟大根生産組合(養父市) (組合長 木戸 孝太郎)	畑と住居との利便性が低いため、新規就農者の参入が進まない。	—
8	朝来	(一社) 田舎暮らし倶楽部 (養父市)(代表 西垣 憲志)	空き家情報の提供や農業体験・交流事業、移住OBとの仲介など、養父市への移住を希望する者の支援活動を市と協働で行っている。また、地元在来種の大豆を活用した味噌の加工を行っており、新規就農者向けに冬季所得確保の場を提供。	—
9	丹波	丹波市市島町下鴨阪集落 (農会長 橋本 慎司)	有機農業の就農希望者の受入れに積極的。	○
10	丹波	株式会社芦田ポトリリー (代表取締役 芦田 昭也)	新規就農者の雇用就農を検討している。	○
	丹波	(別冊) 丹波市広域応援プラン	個別の集落プランに別冊で添付する共通資料として作成。	○
11	洲本	南あわじ市市三條集落 (三条市農地プラン実行委員会 代表 豊田 公隆)	話あい人が農地プラン策定の最大のメリットとして位置づけ、課題解決に向けた話し合いが行われている。	○
12	洲本	南あわじ市榎列小榎列 小榎列人農地プラン検討委員会 代表 碓 茂		—
13	豊岡	豊岡市但東地域(旧但東町) (有)あした 代表取締役 霜倉和典)	水稲・露地野菜(ピーマン)、養鶏、繁殖・肥育等、豊岡市内では農業の盛んな地域で都市部からの移住実績有り。	—
14	豊岡	香美町宿、丸味、小代区ほか		—
15	豊岡	香美町隼人、矢田、下浜		—